

3.10.2 研究推進部門 知財推進グループ

グループリーダー 井手信二 ほか13名

高価値・高独創性を有するNICT発技術の知的財産権化とその技術移転を促進

概要

NICTの研究成果の特許権化を図るとともに、その管理及び技術移転を行うため、以下の業務を行う。

- (1) 専門家の目利きによる発明の発掘、特許相談室の開設により、研究者の研究成果の特許化を支援
- (2) 弁理士等専門家を活用し、効率的な特許出願・管理を実施
- (3) 専門家・TLO（技術移転機関）の活用や展示会、Webサイト等による特許情報の公開を通じて、技術移転活動を展開
- (4) 役職員を対象とした特許講演会・研修を実施

平成20年度の成果

- (1) Webサイトでの技術移転情報の提供 (<http://www2.nict.go.jp/r/r312/partner/index.html>)
NICTの研究成果を広く周知するとともに、技術移転を促進するため最新特許情報、実用化例の提案など付加価値を高めた技術移転特許情報の提供を引き続き行っている。また、平成20年度から有償提供データとして「可動基線電波干渉計による静止衛星データ」を追加した。
- (2) NICTの研究成果の知的財産権化と社会還元のための技術移転活動
国内外に対し、210件の特許出願を行うとともに、16件の有償技術移転を行った。その結果、NICTの研究成果が以下のような商品やサービスとなり、社会に提供されている。
また、平成20年度初めて試料提供契約（Material Transfer Agreement）を2件締結した。
- (3) 無線局管理、図書管理等
研究開発で使用する無線局の開設手続き等に係る調整、国内外の衛星打上げ情報に係る国内外関係者との連絡を行っている。また、NICT図書の管理を一元的に行っており、平成20年度から新図書システムを導入した。

〈Webサイトでの情報提供例〉

最新特許情報

新たに登録になった特許を順次公開しています。

[2008年10月-12月登録New!](#)

[2008年7月-9月登録](#)

[2008年1月-6月登録](#)

最新特許リスト(2008年10月-12月)

登録番号	特許日	発明の名称	概要
4200219	2008/10/17	画像認識装置及び画像認識プログラム	テニスなどのスポーツ映像の各イベントを自動認識・検出するために、選手の動きを捉えた映像情報に加えて、得点を示すスコア情報により検出精度を向上させている。
4214237	2008/11/14	送信装置、受信装置、送信方法、受信方法、ならびに、プログラム	OFDM通信に適用可能な種々の送信技術のうちの一つとして、非角成分以外の成分が0であるユニタリ行列による変換を用いて効率よく通信を行う技術を提供する。
4217794	2008/11/21	プローブ	中間励起状態が外部エネルギーで励起されると、中間励起状態から第1の分子及び核種が放射物と物理的な作用が及ぶような状態にする事で、安定した励起状態を保持して行うことができるように、1分子単位の分解能を制御し良くすることが可能になる。
4244577	2008/12/05	金属表面に吸着した分子等の物性値等の解析方法及び装置	吸着物と金属表面の相互作用をモデル化し、そのモデルを吸着物に対する量子化学計算とを組み合わせることで、従来の方法では算出困難であった吸着物自身のエネルギーなどの物性値や、吸着後の安定状態を算出することができる。
4229457	2008/12/12	データ表示装置及びデータ表示方法	自然科學論文等をコンピュータの画面に表示する際に、テキストに含まれている数式や記号を見出し、精度が高いものは色を変えて表示し、精度が低いものは明るさを減らして表示する。これにより読者が誤解を生じることを必要最小限に抑えることができる。
4235704	2008/12/26	量子干渉計測システム	これまで通信理論の分野で研究されていたケプラー検出方式の概念を干渉計測装置に用いたことで、より精度の高い観測を達成することができる。特に高いフーリエパワーしか残らない分野において、極めて小さい信号を高レベルで検出することができる。
4235724	2008/12/26	光波干渉方法	光通信システムにおいて、今まで注目されていなかった光干渉技術を利用することにより、デジタル信号を送信する際の論理変換を単純化したり、RZやDPSK等のさまざまな論理変換に対応できる。

Copyright(C)2004-9 NICT All Rights Reserved

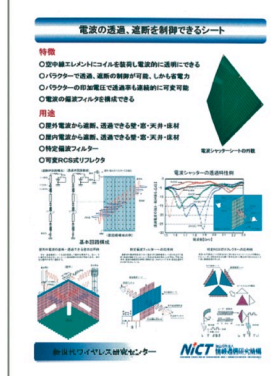
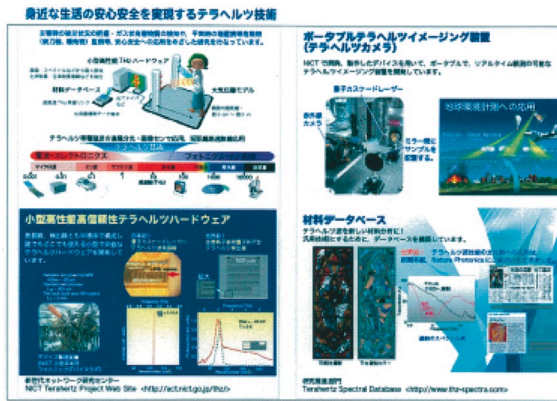
最新特許情報 (http://www2.nict.go.jp/r/r312/partner/trans_patent_new.html)

有償提供データ

NICTでは、研究の成果や定常業務により生まれた各種データを大学や研究機関だけでなく民間企業等に対しても有償で提供しています。

1. [数値人体モデルデータ](#)
人体を細かなブロックで分割し、それぞれのブロックに筋肉や脂肪といった組織名を示す番号を付与したもので、日本人成人男女の平均体型を有しています。 <[詳細](#)>
2. [EDR電子辞書](#)
人間が日常的に使っている自然な言語(自然言語)を、コンピュータに見えさせるための情報を記述した、大規模知識データベースで、日本語と英語の単語辞書(29万語)をはじめ、単語概念の類語を記述する概念辞書(42万語)や辞書記述の典拠としてのコーパスデータベース(例文集、32万語)などの膨大な量の辞書から構成されています。
3. [静止衛星画像データ](#)
定期的に取得した日本から見える静止衛星軌道上の衛星画像データを提供しています。天体望遠鏡に取り付けたCCDカメラによる静止画像を日本から見える静止軌道付近を定期的に撮影しています。提供する画像データには、恒星位置を基準に静止衛星の位置を読み取るためのマーカーが入っていますので、正確な位置読み取りが可能です。また連続したデータから、静止衛星の軌道決定も可能です。
4. [可動基線電波干渉計による静止衛星データ](#)
静止衛星の位置を測定するためには、地上からの信号を衛星で折り返して距離を求めますが、本装置では衛星からの電波を受信するだけで軌道位置推定が出来ます。

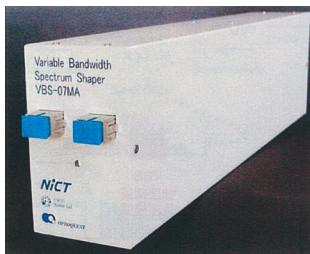
有償提供データ (http://www2.nict.go.jp/r/r312/partner/trans_edr.html)



技術移転特許情報 (http://www2.nict.go.jp/r/r312/partner/trans_patent.use.html)

〈研究成果の商品・実用化例〉

帯域可変スペクトルシェイパー



スペクトル強度と位相を同時に独立して高精度・高分解能で制御することができます。超高速光通信の波形整形へ利用することにより、より正確に長距離の高速データ転送が可能となり、伝送路中のボトルネックを排除できるフォトニックネットワークを実現します。

㈱オプトクエストから販売中

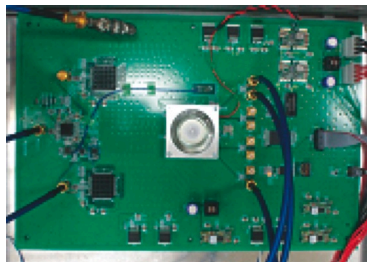
MRI被験者用ヘッドセット



脳の働きを知るためにMRI測定を行う場合に被験者と会話すると装置内の電磁誘導ノイズの影響を受けます。このため、非磁性圧電素子のマイクやノイズ軽減ソフトウェア等を開発しノイズの影響を受けなくしました。これにより、脳研究の推進が期待されます。

㈱日立アドバンスシステムから販売中

コヒーレント光通信用高速デジタル信号処理技術



3 Gbpsクラスのコヒーレント光空間通信受信機を開発しました。超高速AD変換器2個の出力を1個のFPGAで処理する高速デジタル信号処理技術により、信号が大気揺らぎ等で大きく歪む衛星地上間の光空間通信において、安定した通信が可能となります。

日本コントロールシステム㈱から販売中

可動基線電波干渉計による静止衛星データの提供



静止衛星の位置を測定するためには、地上からの信号を衛星で折り返して距離を求めますが、本装置では衛星からの電波を受信するだけで軌道位置推定ができます。これにより、静止衛星の電波や衛星軌道の監視に応用でき、得られたデータを衛星通信会社に提供しています。

データ提供中